

1. 研究活動

著書			
著書 児童養護と青年期の自立支援	2009. 7	ミネルヴァ書房	<p>「青年期の自立支援」に関する取り組みをまとめたものであり、進路・進学問題に関する支援のあり方を考察したものである。また、最後に施設経験者である大学卒業生等による提言が盛り込まれ、援助者の視点だけではなく、双方向の視点から「青年期の自立支援」のあり方を考察できる内容となっている。</p> <p>A5版 全237頁 編者：全国児童養護問題研究会編集委員 編集代表：喜多一憲、長谷川真人、神戸賢次、堀場純矢 共著者：浅倉恵一、望月 彰、伊藤貴啓 他23名</p> <p>本人担当部分：「第3章 関係機関と施設などにおける自立支援の実践と課題（実践編2）2 児童自立支援施設における青年期を展望した自立支援」（P125～P133）を単著。</p> <p>感化院時代での自立支援の取り組みを踏まえて、100年以上の歴史をもつ実践の継承を唱えとともに、教護院から児童自立支援施設となったことにより、更に自立支援機能を充実しなければならない児童自立支援施設の現状と課題、充実・強化の方策、青年期を展望した自立支援の重要性を著した。</p>

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目 児童福祉 I		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
児童福祉の法律・制度及び児童福祉施設での実践活動について、視聴覚教材を利用するなどして、理解しやすい内容の授業になるようにした。	教科書として、共著者として作成した「四訂 新撰・児童福祉」（株式会社みらい）を利用した。また、児童福祉及び児童福祉施設に関するドキュメンタリー番組を視聴覚教材として、児童福祉の現状や理念を理解しやすいように教授した。	
授業科目 養護原理 I		
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
社会的児童養護について、原理・原則、児童養護実践の在り方、児童の権利擁護について、視聴覚教材を利用するなどして、理解しやすい内容の授業になるようにした。	教科書として、共著者として作成した「改訂 新撰・児童養護の原理と内容」（株式会社みらい）を利用した。また、児童養護実践及び児童福祉施設に関するドキュメンタリー番組を視聴覚教材として、社会的養護実践や社会的養護理論を教授した。	
授業科目 児童福祉 II		
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		

工夫の概要	教材・資料等の概要
実践事例とドキュメンタリー番組等を教材として、リアリティのある実践事例研究を行う内容の授業とした。	教科書として、編者として作成した「新子どもの問題ケースブック」を利用した。そこに収載された実践事例をもとに、子どもへのケースワークについて教授した。
授業科目 養護原理Ⅱ	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
教科書や講義だけではわかりにくい実践場面を、児童養護施設の行事に参加して、理解を深めさせる工夫をした。	教科書として、共著者として作成した「改訂 新撰・児童養護の原理と内容」(株式会社みらい)を利用した。家庭支援を中心に、パーマネンシーやファミリーケースワークの意義について教授した。

3. 学会等および社会における主な活動

全国児童養護問題研究会	6. 30 ~ 7. 2	第38回全国大会・京都大会を開催し、全国運営委員として、大会の運営に努めた。
児童福祉施設のための性教育研究会	11月～現在に至る	11月に結成準備会、1月から奇数月の第2土曜日に都内で定期開催して、児童福祉施設の性問題や性教育について研究している。
富山第一高等学校 平成21年度第1回校内教育相談研修会	6. 29	教職員向けの研修会で、「発達障害」をテーマに講師を務めた。
愛知県現任保育士研修・園長研修	7. 23	「家族援助の理論と方法」の講師を務めた。